

静岡県東部地域企業経営動向調査

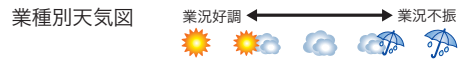
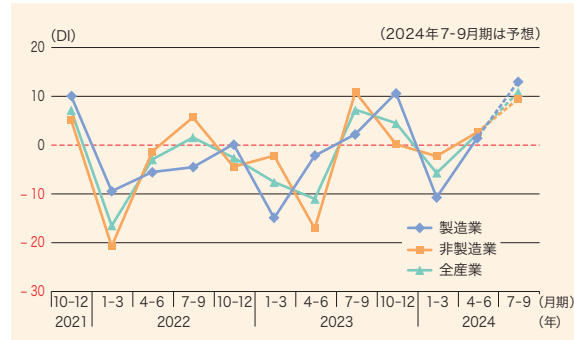
(2024年4-6月期実績、2024年7-9月期見通し)

① 業況概要(自社)

全体DIは2期ぶりにプラス水準を回復

静岡県東部地域における2024年4-6月期の業況判断DI(全産業:前期比)は上昇に転じ、2期ぶりにプラス水準を回復した(前期-6.0→今期2.1:以下同様)。製造業は、一般機械器具でDIが低下したが、パルプ・紙・紙加工品、金属製品、その他製造業では改善が進み、全体でも-11.1→1.3と10ポイント以上の大幅な上昇に転じた。一方、非製造業も、旅館・その他宿泊所を除く卸・小売・サービスおよび建設でDIが改善に転じ、全体でも-2.5→2.5と3期ぶりの上昇となった。

2024年7-9月期の予想DI(今期比)は全産業で10.8、うち製造業13.0、非製造業9.4といずれも今期に続く上昇が期待されている。



(2024年1-3月期、4-6月期は前期比。7-9月期は今期比予想)

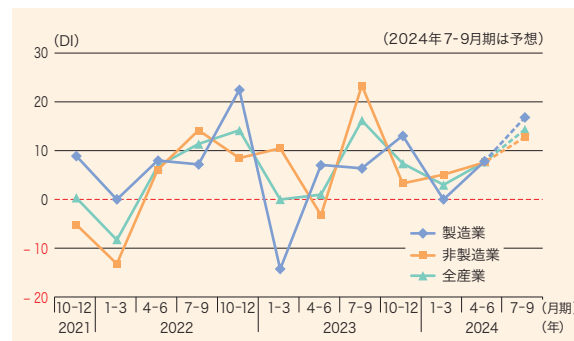
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2024年1-3月期	☁️🌧️	☀️☁️	☁️🌧️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️
2024年4-6月期	☁️	☀️☁️	☁️🌧️	☁️🌧️	☁️	☁️	☁️	☁️
2024年7-9月期	☀️☁️	☀️	☁️	☀️☁️	☁️	☁️	☀️	☀️☁️

② 売上動向

全産業では3期ぶりに上昇に転じる

2024年4-6月期の売上動向DI(全産業:前期比)は3期ぶりに上昇に転じた(前期3.0→7.7)。製造業では食料品と一般機械器具でDIが低下したが、パルプ・紙・紙加工品や金属製品などの改善により、全体でも0.0→7.8と上昇に転じた。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所で大幅な低下となったものの、その他の卸・小売・サービスは改善が続き、建設も上昇に転じたことから、全体でも5.1→7.6と上昇している。

2024年7-9月期の予想DI(今期比)は、全産業で14.4、製造業で16.9、非製造業で12.8と、引き続きの上昇を見込んでいる。

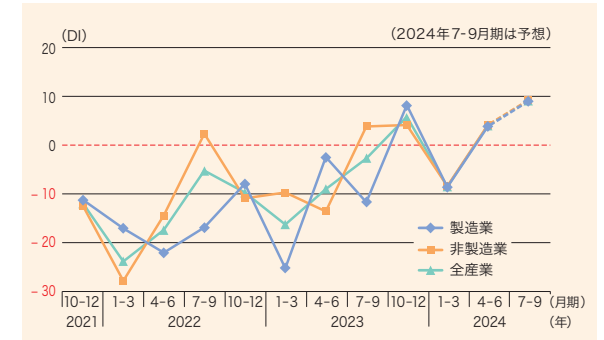


③ 利益動向

全産業で上昇に転じ、2期ぶりにプラス水準を回復

2024年4-6月期の利益動向DI(全産業:前期比)は上昇に転じ、2期ぶりにプラス水準を回復した(前期-8.5→今期4.1)。製造業では、食料品や金属製品をはじめすべての業種でDIが改善し、全体でも-8.6→3.9と10ポイント以上の上昇となった。また、非製造業も旅館・その他宿泊所でDIが大幅に低下したが、その他の卸・小売・サービスおよび建設では改善に転じたため、全体でも-8.4→4.2とプラス水準を回復している。

2024年7-9月期の予想DI(今期比)は全産業で9.2、製造業9.1、非製造業9.3となり、製造業、非製造業ともほぼ同水準で上昇の継続を見込んでいる。



④ 経営上の問題点

「原材料・資材・仕入商品の値上り」の割合が上昇

「原材料・資材・仕入商品の値上り」の割合が前期比8ポイントの上昇に転じた。また、「求人難」の割合も上昇が続いており、この2項目が40%を超えている。一方で、「受注・売上

の停滞・減少」は同4ポイントの低下に転じた。ただし、製造業に限ってみると「原材料・資材・仕入商品の値上り」の割合を上回って最も高くなっている。

(複数回答)

	2023年10-12月期		2024年1-3月期		2024年4-6月期		前期比割合変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 原材料・資材・仕入商品の値上り	84	41.2%	71	36.2%	85	43.8%	↑
2. 求人難	64	31.4%	70	35.7%	79	40.7%	↑
3. 人材の育成	75	36.8%	72	36.7%	74	38.1%	↑
4. 従業員の高齢化	72	35.3%	78	39.8%	61	31.4%	↓
5. 受注・売上の停滞・減少	58	28.4%	69	35.2%	60	30.9%	↓
6. 人件費の増加	73	35.8%	68	34.7%	57	29.4%	↓
7. その他経費の増加	48	23.5%	35	17.9%	34	17.5%	↓
8. 生産・販売能力の不足	24	11.8%	33	16.8%	24	12.4%	↓

(回答企業204社) (回答企業196社) (回答企業194社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業736社 回答企業数195社(回答率26.5%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき実績と見通しを記入(回答は紙とウェブを併用)
- 調査対象期間 実績:2024年4-6月期 見通し:2024年7-9月期
- 調査期間 2024年5月中旬-6月下旬

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標